

名古屋学院大学

2026 年度 総合型選抜 出題の意図

試験区分	特別奨学生入試
試験日	12月6日
科目	世界史

「世界史」では、すべての日程において、大学入試センターが掲げている「用語などを含めた個別の事実等に関する知識のみならず、歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連等について、総合的に考察する力を求める」および「教科書等で扱われていない初見の資料であっても、そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける問題、仮説を立て、資料に基づいて根拠を示したり、検証したりする問題や、歴史の展開を考察したり、時代や地域を超えて特定のテーマについて考察したりする問題などを含めて検討する」という方針に準じた問題を出題している。以下、項目別に出題の意図を示す。

大問Ⅰ

リード文の読み取りを通して、空欄にあてはまるものを類推できるか、また、下線部についての知識を踏まえ、解説等の適切性について考察できるかを問う。「冷戦と第三世界の台頭」について出題。

大問Ⅱ

年表から該当する時代の特徴や主な歴史的事象の背景等について、理解しているかを問う。「イギリスの優位と欧米国民国家の形成」について出題。

大問Ⅲ

一問一答によって、世界史学習の前提となる基礎用語や基本事項が正確に身につけているかを問う。「文明の成立と古代文明の特質」について出題。

大問Ⅳ

資料から情報を読み取り、学習した知識と関連付け、正答を導き出せるかを問う。「東アジア世界の展開とモンゴル帝国」について出題。